

2026 年 10 月 23 日
香 川 県 三 豊 市
NTT 西日本株式会社 香川支店

三豊市における自動運転 EV バスの実証運行について ～新たに路車協調実施、及び運行ルート拡大～

香川県三豊市（市長：山下 昭史）と NTT 西日本株式会社 香川支店（支店長：木田 愛希子、以下「NTT 西日本」）は、「自動運転による地域活性化に関する包括連携協定」（以下「連携協定」）を締結し、国土交通省の令和 8 年度「地域公共交通確保維持改善事業（自動運転社会実装推進事業）」に採択されました。

このたびの採択を受け、本連携協定に基づき、2026 年 11 月 1 日（日）から 2026 年 12 月 25 日（金）まで、自動運転 EV バスの実証運行を実施いたします。

なお、本実証は 3 度目^{※1}となります。今回は、新たに路車協調の検証^{※2}を取り入れるとともに、社会実装を見据えて運行ルートを拡大し、レベル 4 の実現に向けた検証を進めます。

※ 1. 2024 年度：2025 年 1 月 27 日（月）～2 月 7 日（金）に実施

※ 1. 2025 年度：2025 年 11 月 1 日（土）～11 月 30 日（日）に実施

※ 2. 道路（路）と車両（車）が通信し、お互いの情報を共有して安全運転や自動運転を 支援する仕組み

1. 実証の目的

地方が迎えた人口減少や少子高齢社会の中にあっては、市民の移動手段の確保は喫緊の課題となっています。また、人口構造の変化に伴う生産年齢人口の減少は、今後、働き手やドライバーの確保にも大きな影響を及ぼすことが予想されています。このような社会背景のもと、三豊市と NTT 西日本株式会社 香川支店では、これまでの実証実験での取り組みを基に「自動運転による地域活性化に関する包括連携協定」を締結し、自動運転技術を取り入れた EV バスの実証運行を行うことで、市民の移動手段の確保とともに、ドライバーを含む働き手不足を補うことを目的に、三豊市、NTT 西日本などの連携による地域課題の解決をめざします。

2. 実証運行の概要

- (1) 実施主体 : 三豊市
- (2) 実証内容 : レベル 4 の実現をめざし、本事業ではレベル 2 での実証運行を実施
- (3) 運行計画 : ①ルート 地域交流館荘内～香川高専詫間キャンパス～JR 詫間駅の周回コース
②ダイヤ 1 日 6 便
- (4) 実証期間 : 2026 年 11 月 1 日（日）から 2026 年 12 月 25 日（金）まで
注)10 月 30 日（金）については開始式、及び関係者試乗のみ。
注)ただし、運休日（11 月 15 日（日）、29 日（日）、12 月 13 日（日））を除く。
豪雨等の臨時運休の可能性もございます。
- (5) 実証車両 : 自動運転 EV バス車両 マクニカ Navya EVO
乗車定員 10 名(オペレータ 1 名+乗客 9 名)、低速運行（20 km 未満）※自動運転時

3. 各者の役割

- (1) 三豊市 : レベル4 自動運転の社会実装に向けた全体統括
- (2) NTT 西日本 : 調査事業統括、プロジェクトマネジメント、ネットワーク提供 等
- (3) 株式会社マクニカ : 自動運転導入エンジニアリング及びサポート、車両提供

4. 今後の展開

本実証の結果を踏まえ、自動運転サービス（レベル4）の社会実装実現に向け、今後も実証調査を積み重ねることで、自動運転サービスの提供に必要な課題の解決に取り組めます。

こうした取り組みを通じて、ヒトやモノといった地域の資源を最大限活用し、自動運転などの先端技術の導入に挑戦し、まちづくりと連携した新たなモビリティサービスの導入により、三豊市が地域公共交通の将来像として掲げる「行きたいときに 行きたいところへ 行けるまち」の実現をめざします。

ニュースリリースに記載している情報は、発表日時点のものです。変更になる場合がありますので、あらかじめご了承くださいとともに、ご注意をお願いいたします。

別紙：運行エリア

